

第 24 期 第 11 回 日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会心と脳など新しい領域検討小委員会 議事録

日時:9 月 15 日(火)12:10~12:40

会場:遠隔会議(主催会場:東京農工大学 跡見・清水研究室)

出席委員(敬称略):大倉典子、久保 司郎(大阪大学)、萩原一郎(明治大学)、跡見順子(東京農工大学)、跡見友章(杏林大学)、岩木 直(産総研)、菊池吉晃(都立大学)、小池康晴(東工大)、清水美穂(東京農工大学)、杉山 将(理研/東京大学)、則内まどか(都立大学)、福田収一(慶応大)、川原靖弘(放送大)、以上 13 名。

議題

- 1) 第 10 回議事録確認
- 2) 24 期の総括

総括概略:

- ① 「心と脳など新しい領域検討小委員会は 21 期(2008 年~2011 年 9 月)から始まった。
- ② 23 期までは萩原委員長のもと、一つのテーマの深堀り関連する多くの分野からなる委員からの話題提供が中心であった
- ③ 第 23 期で跡見委員提唱の「こころ・からだ・細胞を運動でつなぐアプローチ」を深堀したいという気運が高まった。
- ④ そこで第 24 期では、委員長も萩原委員から跡見委員長に代わり 23 期までの総花的な議論から「こころ・からだ・細胞を運動でつなぐアプローチ」についての議論が中心となった。
- ⑤ 二つのシンポジウムの開催、提言をまとめるなど活発な活動がなされた。ただ残念なことに本小委員会の親委員会である「計算科学シミュレーションと工学設計分科会」からは理解されない部分もあり、提言はペンディングな状況となっている。
- ⑥ 提言で述べていることは、「病気を治すより健康を維持することの重要さとその方法のサイエンス」に関するものであり、これこそ最も重要なサイエンスであることを、一般からも是非理解していただけるよう 25 期も継続したいという出席者全員の意見となった。